日本国内専用
Use only in Japan

電動昇降吊戸棚 取付・設置説明書

形名
KEL-B090D35（食器乾燥庫）
KEL-B090DR35（リモコン付 食器乾燥庫）

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定される こと"を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定される こと"を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

専門業者	**設置は専門業者に依頼する** ご自分で設置をされ、不備があった場合、感電や火災の原因となります。
よく読む	**取付・設置説明書をよく読み正しく確実に設置する** 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。
ガス器具から15cm以上離す	**ガス器具から15cm以上離して設置する** 製品の熱変形や火災の原因になりますので充分注意してください。

⚠警告

強度確認	**壁の強度と補強桟の位置を確認する** 取付ける前に、壁の構造・補強桟の位置を確認してください。 十分な強度がないと、落下事故などの原因になります。
確実に固定	**本体は壁に確実に固定する** **垂れ壁への取付けは、垂れ壁と天吊りの両方に固定する** 取付けが不十分な場合、本体の落下の原因となります。
確実に固定	**ねじはゆるまないよう、最後まで確実に固定する** 不十分だと本体のガタツキや故障の原因になります。
専門業者へ依頼	**電気配線は必ず電気工事業者（法的有資格者）に依頼する** ご自分で配線をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
交流100Vで専用回路を使用	**電源は交流100Vで定格15A以上の専用回路を使用する** 火災・感電の原因となります。
確実に接続	**電源コードは確実に接続する** 接続が不十分だと、異常発熱の原因になります。
禁止	**電源コードを傷付けたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、** **また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない** 電源コードが破損し火災・感電の原因となります。
アース	**アース接地を必ず行う** アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
禁止	**扉を無理に開けない** 扉は昇降棚の下降動作と連動して開きますので、無理に開けますと故障の原因となります。
禁止	**本体を壁に取付ける前に昇降操作をしない** 本体に傷が付いたり、動作不良などの故障の原因になります。
禁止	**本体と天井の間に幕板を取付ける場合は、本体と幕板をねじなどで固定しない** 修理・交換ができなくなります。
禁止	**取付金具に取付けてあるねじは、はずさない** 本体の落下事故の原因となります。

⚠注意

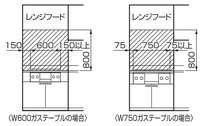
確実に引掛ける	**本体が取付金具に確実に取付けられていることを確認する** 引掛けが不十分だと落下の原因になります。
斜めに取付けない	**本体が斜めになっていないか確認する** 斜めになっていると、本体に傷がついたり動作不良などの故障の原因になります。

1 はじめに（工事される方へのお願い）

（単位：mm）

●本説明書は電動昇降吊戸棚の取付と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事などを区分して説明しています。建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。
流通業者（販売店）を通じて電動昇降吊戸棚の取付を行う場合は、建設工事と区分して行ってください。
●設置は、必ず二人以上で行ってください。
●設置の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
●接続用の屋内配線が必要です。設置工事前に、必ず接続用の配線がされていることを確認ください。
●電気配線は電気工事業者（法的有資格者）に依頼してください。
●この取付・設置説明書は必ずお客様にお渡してください。

設置前の確認



（W600ガステーブルの場合）　（W750ガステーブルの場合）

●火災予防条例（東京都）では、左図の斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。斜線内には設置しないでください。なお、これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。
●昇降部分の下に物が設置されないことを確認してください。
●下部に加熱機器（ガス、電気器具等）が設置されない場所であることを確認してください。

同梱部品の確認

●設置をされる前に、商品の損傷がないこと、同梱部品がそろっていることを確認してください。
上面パネルは緩衝材にセットされています。

※印部品はリモコン付タイプのみです。

ご使用時に必要な付属品

食器かご（上）	食器かご（下）	はし立て	水受皿
1個	1個	1個	1個
上面パネル	**フィルター・フィルターカバー**	**取扱説明書（保証書一体）**	
（緩衝材にセットされています）1個	各1個	1冊	
リモコン（KEL-ADR）※	**ホルダー※**	**単四アルカリ乾電池※**	
1個	1個	2本	

同梱部品の確認〈つづき〉

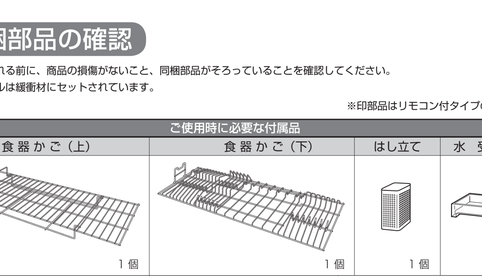
取付け時に必要な付属品

取付金具	取付金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ
1個	φ5×50mm 5本	φ4.5×63mm 4本 4枚	φ4×28mm 4本 4個
上面パネル取付ねじ	**ホルダー取付ねじ※**	**ホルダー取付両面テープ※**	**天吊り用ワッシャ**	**取付・設置説明書**
ねじ取付金具に貼り付けてあります。 φ4×10mm 2本	φ3×10mm 2本	2枚	8個	1冊

取付け場所の確認

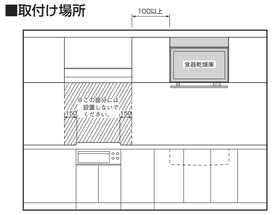
（単位：mm）

■取付け壁面の構造および強度



●補強桟の取付は大工工事業者へ依頼してください。
●庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなります。
●補強桟の位置および強度を確認し、不具合があれば修正してください。

■取付け場所

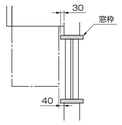


シンク上部に取付ける場合

●ガスこんろ、電気こんろ等の加熱機器や、湯沸器等から150mm以上離して設置してください。（幅600ガスこんろの場合）
●食器乾燥庫の側面は不燃仕様になっていませんのでレンジフードと隣接して取付けないでください。
※100mm以上の距離が必要です。

取付け場所の確認〈つづき〉

■窓枠について



●サッシ等の窓枠の突出寸法は30mm以下にしてください。
昇降棚を下降させたときに、当たる恐れがあります。

取付け荷重について

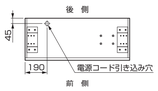
●製品を取付けると、壁面にかなりの負担がかかります。
下記に注意しながら取付けてください。
●製品庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなりますので、取付け強度は総質量の3倍を目安としてください。

2 設置の前に

（単位：mm）

電気配線

■電気配線（AC100V）、アース線の引込位置



●天井面の左記の位置に引込口を設けていますので、ここから電源ケーブルおよびアース線を約1m引込んでください。
●電気配線は必ず電気工事業者（法的有資格者）へ依頼してください。

接地

●漏電による感電事故防止や製品の性能を保つために、必ずアースを設けてください。
●アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事をするようにしてください。
●アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
●接地終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

漏電しゃ断器の設置

●万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
●接地および漏電しゃ断器の設置は、電気工事業者（法的有資格者）に依頼してください。

3 設置（各機種共通）

（単位：mm）

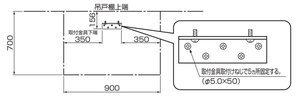
●補強桟の位置、強度は十分かどうか確認してください。
●電源ケーブル、アース線の取出口は指定の位置にあるか確認してください。

1 本体の取付け

●本体底面についている緩衝材（上面パネル）は必ずつけたままにしてください。

1

■取付金具の取付け

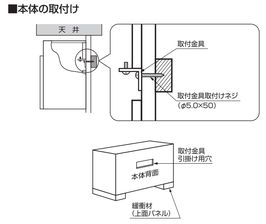


⚠注意
水平に取付ける　**取付金具は水平に取付ける**
水平になっていないと本体が斜めになります。

●付属の取付金具取付ねじで、取付金具を壁面に固定します。

2

■本体の取付け

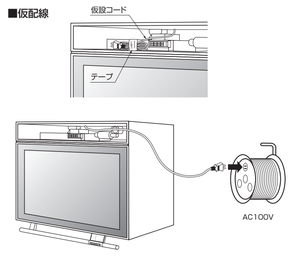


⚠注意
確実に引掛ける　**本体が取付金具に確実に取付けられていることを確認する**
引掛けが不十分だと落下の原因になります。

●取付金具への取付け
本体を取付金具に確実に引掛けます。
なお、取付けが終わりましたら、底面の緩衝材（上面パネル）をはずします。

3

■仮配線



●上面パネル部奥に収納されている仮設コードを固定テープをはがし取り出します。

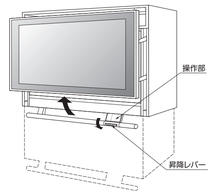
●仮設コードのプラグをコンセント（AC100V）に接続します。

※仮設コードは、電気配線完了後に、必ず破棄してください。

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

4

■昇降動作の確認



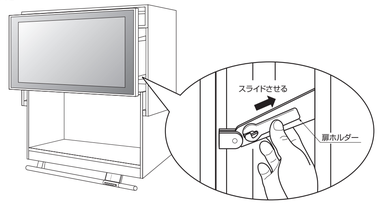
⚠注意
禁止　**昇降動作を行うときは、必ず壁に吊下げてから行う**
故障の原因となります。

操作の前に
●緩衝材が外れていることを確認します。
●操作部の電源スイッチを一回押し電源を入れます。

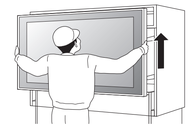
●昇降レバーを下げて昇降棚の下降を確認します。
下端まで下降すると、自動的に停止します。また、レバーから手を離すと下降を停止します。
扉は、昇降棚の下降動作に連動して開きます。
●昇降レバーを上げて昇降棚の上昇を確認します。
上端まで上昇すると自動的に停止します。また、レバーから手を離すと上昇を停止します。
上端まで上昇したときに、扉が閉まることを確認します。

5

■扉のはずしかた



●昇降棚を下降させた後、扉ホルダー左右2ヵ所（計4ヵ所）を本体側へスライドさせてください。



●扉をゆっくり上へ持ち上げてください。

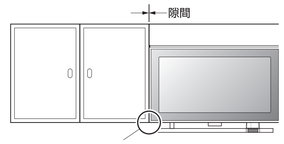
⚠注意
禁止　**扉の取り扱いには十分注意する**
破損、けがの原因になります。

※扉の取付けは順番が逆になります。

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

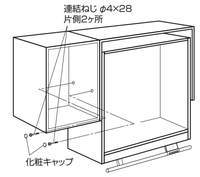
6

■隣接する吊戸棚と本体の連結



●本体を取付金具に引掛けた後、隣接する吊戸棚との間に隙間または段差が生じたときには、付属の連結ねじ（化粧キャップ付）で調整してください。

（例）吊戸棚側から取付ける場合

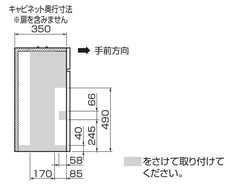


●昇降動作の確認後に隣接する吊戸棚と本体を連結ねじにて連結します。

●連結は、左右各2箇所で行ってください。

●吊戸棚下面、本体キャビネット下面に段差がないように取付けてください。

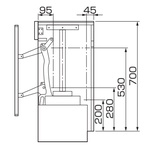
●連結ねじを吊戸棚側から締め付ける場合は指定の範囲をさけて締め付けてください。
（連結ねじ不可範囲を参照）



<連結ねじ不可範囲>

●締め付け完了後、化粧キャップをねじ頭に付けてください。（吊戸棚側から連結した場合）

■サイドパネルを取り付ける場合

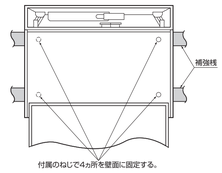


●本体内側から左図の位置に連結ねじで締め付けてください。
※締め付け位置は左右共通です。

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

7

■本体の固定

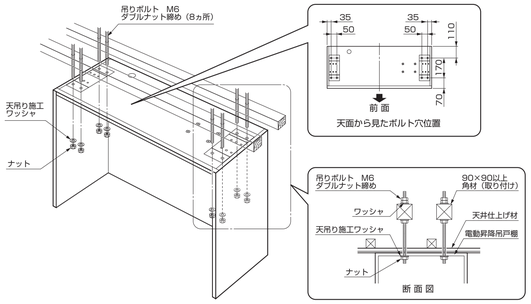


●本体を付属のねじ（φ4.5×63mm、ワッシャ付）で壁に固定します。ねじは壁に密着するまで確実に固定してください。
※必ず4ヵ所固定してください。

●設置壁面のうねり・ひずみは3mm以内にしてください。
●本体の傾きは3mm以内にしてください。

※昇降棚と本体キャビネットが擦れ、故障する原因になります。

■対面キッチンの場合の天面ねじ固定

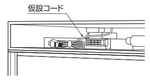


●天吊りする場合は、本体裏面を垂れ壁に合わせてください。
●キャビネットを、上図を参考にして固定します。
天面ボルト穴（8ヶ所）に吊りボルトを通し、天吊り用ワッシャを通して下からナットで固定します。
※水平レベルを必ず出して設置してください。また、設置　壁面のうねり・ひずみは3mm以内にしてください。
※吊りボルト、ナットは同梱されておりません。現場に合わせ必要なものを準備ください。
※設置後、本体の固定（上記）を行ってください。

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

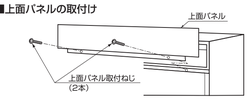
8

■仮設コードの収納



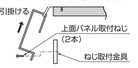
●電源プラグを抜き、仮設コードを束ねて本体内に収納する。（仮設コードは電気配線時で取りはずします）
●上面パネルを取り出す際、上面パネルが変形しますので、無理な荷重を加えないでください。

■上面パネルの取付け



●上面パネルを箱パットから取りはずし、取付ねじ（4×10）2本で取付けます。
※取付ねじは、ねじ取付金具に貼り付けてあります。

＜上面パネルの取付け断面図＞

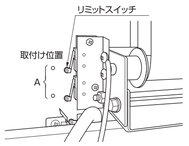


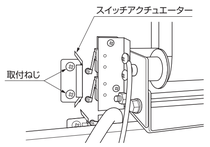
9

■扉の取付け
●「❶本体の取付け **5**」を参照して取付けてください。

■昇降棚の下降寸法を少なくする場合は（通常の設置では必要ありません）

●本製品は最大下降寸法が400mmとなっておりますが、電動昇降吊戸棚の下側に水道の蛇口等があり十分な寸法が確保できない場合は下記作業を行うことにより、最大300mmまで（2段階）下降寸法を少なくすることが出来ます。
※但し、昇降棚に連動して扉が開閉する為、扉が標準寸法まで開かず収納物の出し入れがしにくくなる場合があります。
※変更に必要なスイッチアクチュエーターとねじ（セット）は取寄せ（有料）となります。





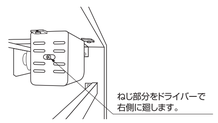
①昇降棚の下面側に約500mmのスペースを確保してください。
※下側に蛇口等がすでに設置されている場合は必ずはずしてから行ってください。
②電動昇降吊戸棚の昇降棚を最大下降させます。
③電源を確実に抜いてから扉をはずします。
「❶本体の取付け **5**」参照
④スイッチアクチュエーター（別売品）を取付けねじ2本で確実に取付けます。
取付け位置は昇降棚右上側にあります（左図参照）、取付け位置はA、またはBの2箇所選定できます。

取付け位置	昇降棚下降寸法
A	約300mm
B	約335mm

※スイッチアクチュエーターの変形、及びガタツキに十分注意してください。誤動作、故障の原因になります。

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

■昇降棚の下降寸法を少なくする場合は（通常の設置では必要ありません）



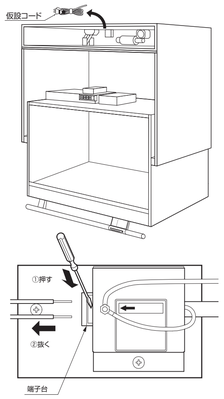
⑤昇降用モーターを手廻しドライバーで右側に回転させ、昇降棚を上昇させます。
（目安：昇降棚を約 10cm 上昇させてください。）
※上昇が不足してますと異常検知して動作しない場合があります。
⑥扉を取付けます。
「❶本体の取付け **5**」項参照
⑦電源を接続し昇降動作の確認（試運転）を行ってください。

2 電気配線

1

■上面パネルの取りはずし
●❶-**8**「上面パネルの取付け」を参考にして、上面パネルを取りはずします。
●仮設コードを取り出し、仮設コードのプラグをコンセント（AC100V）に接続します。
昇降棚を下降させます。
※昇降棚下降後は仮設コードをコンセントから確実に抜いてください。
●扉を外してください。
❶-**5**「扉のはずしかた」を参照してください。

■仮設コードの取りはずし



●電気配線は必ず電気工事業者（法的有資格者）に依頼してください。
●元電源（室内ブレーカ）を「OFF」にします。
●電源端子部から仮設コードを取りはずします。

⚠注意

必ずはずす

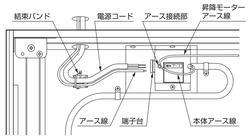
仮設コードは、必ず取りはずし、破棄してください
仮設コードでの本配線は、火災の原因となります。。

●⊖ドライバーで左図の部分を押しながら取りはずします。
（無理にコードを引っ張らないでください。）

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

2

■電源コード、アース線の接続



●電源コード、アース線を本体内に引込みます。

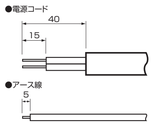
⚠警告

禁止

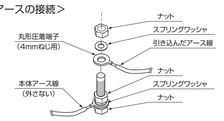
電源コードやアース線が昇降ベルトと金属部品の端面に触れない
コードが傷付き火災や感電の原因となります。

●電源コード、アース線が長い場合はカットしてください。
●電源コードはVVFケーブル（φ1.6またはφ2.0）を使用し、被覆部まで確実に差し込んでください。
接続後、コードを引っ張って接続が確実かどうか確認してください。
●アース線は先端に4mmねじ用の丸形圧着端子をつけ、ゆるまないようナットで確実に締め付けてください。

＜皮むき寸法＞



＜アースの接続＞



⚠警告

アース

アース接地を必ず行う
アースの接地を行わないと、感電の原因となります。

3

■上面パネルの取付け
●❶-**8**「上面パネルの取付け」を参照して取付けてください。

4

■扉の取付け
●❶-**5**「扉のはずしかた」を参考にして取付けてください。

3 設置（各機種共通）〈つづき〉

3 設置完了後の確認（試運転）

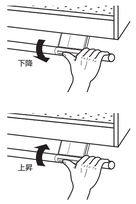
●元電源（室内ブレーカ）が「ON」になっていることを確認してください。

1

■取付け状態の確認
●製品の取付けにグラツキのないことを確認する。

2

■昇降動作の確認

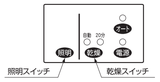


●電源スイッチが入っていることを確認する。

下降動作
①昇降レバーを下げると、昇降棚が下降する。
②レバーから手を離すと停止する。
③下端まで下降すると自動的に停止する。
④下降動作と連動して扉が開く。

上昇動作
①昇降レバーを上げると、昇降棚が上昇する。
②レバーから手を離すと停止する。
③オートスイッチを 1 回押す。
④昇降レバーを上げ、レバーから手を離す。
⑤上端まで上昇すると自動的に停止する。
⑥上昇動作と連動して扉が閉まる。

3



■照明の確認
●操作パネルの照明スイッチを押し、点灯することを確認する。
■食器乾燥庫について
●操作パネルの「乾燥」スイッチを押して乾燥運転を行い、排気口付近（扉下部）から温風が出ることを確認する。
※昇降棚が下がっている状態では乾燥スイッチは入りません。

3 設置（リモコン付きタイプのみ）

4 リモコンの取付け

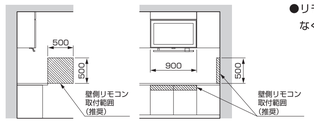
●取付ける前にリモコンの種類を確認してください。

リモコン	リモコンチャンネル	使用できる電動昇降吊戸棚
KEL-ADR	チャンネル 1	KEL-B090DR35

※形名はリモコン裏側の定格表示部に刻印されています。

1

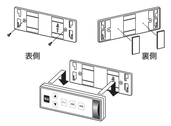
■リモコン、ホルダー取付範囲



●リモコン、ホルダーは電動昇降吊戸棚が無理なく操作できる位置に取付けてください。

2

■ホルダーの取付けかた
ホルダーの取付けはねじ止めと両面テープの2種類の方式がありますので、その場の状況に応じてお客様とご相談の上、取付けを行ってください。※ホルダーの取付方向は、表側に刻印されています。



●ねじ止めはホルダー表側より締付けて固定します。
●両面テープはホルダー裏側の平らな面に貼り固定します。
●リモコンをホルダーに取付けます。
リモコン裏側の爪部をホルダーに差込み、リモコンを下げると取付けることができます。

3

■リモコン動作の確認
●リモコン裏側の電池蓋をはずして付属の単四アルカリ乾電池を入れ動作を確認します。
●単四アルカリ乾電池の入れかたは取扱説明書の「リモコンの使いかた」を参照してください。
●動作の確認は取扱説明書の「リモコンの使いかた」を参照してください。
●引渡しまでの時間があく場合は、動作確認後、リモコンより単四アルカリ乾電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

3 設置（リモコン付きタイプのみ）〈つづき〉

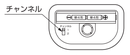
5 同じ機種2台を設置する場合は

●チャンネルを切替えます。
チャンネルを切替えないと一つのリモコンで 2 台同時に動作します。

処　置	機体の組合せ	リモコンチャンネル	機体（制御基板）チャンネル
チャンネル変更あり	KEL-B090DR35（KEL-ADR） ＋ KEL-B090DR35（KEL-ADR）	1	1
		1 → 2 に切替 える	1 → 2（ON）に切替える

1

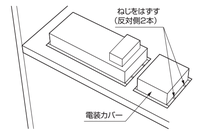
■チャンネルの切替え＜リモコン＞



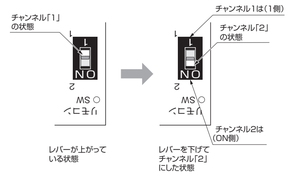
●片方のリモコンの電池蓋を開けてチャンネルを切替えます。電池蓋の開けかたは取扱説明書の「リモコンの使いかた」を参照してください。

2

■チャンネルの切替え＜制御基板＞
昇降棚を下降させてから元電源（室内ブレーカー）が「OFF」になっていることを確認してください。
①扉をはずします。
「❶本体の取付け **5**」を参照してください。
②電装カバーをはずします。



KEL-A090DR35タイプ



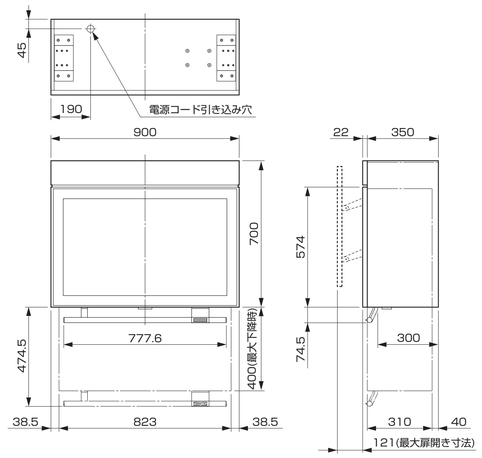
③制御基板のチャンネルを切替えます。

⚠警告

OFFにする

チャンネルの切替えの際は必ず元電源（室内ブレーカー）をOFFにする
安全を確保すると共に制御基板の切替えプログラムがリセットされません。

外形寸法（単位：mm）



本製品のホルムアルデヒド発散区分

表　示　内　容	
商品名	電動昇降吊戸棚
製造企業名	金澤工業株式会社
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも　F ☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」に基づく
製造番号または製造年月日	昇降棚上部の電装カバーに記載
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB　F ☆☆☆☆ 接着剤　F ☆☆☆☆
問い合わせ先	品質管理部　0280-92-3061

施工に当たって、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

金澤工業株式会社
〒306-0226　茨城県古河市女沼 1663 番地

2017. 11 ③P